

10月号特集

剣道日本

特集 こう打つ、こう解く

日本剣道形の技法

付録 DVD付き 玉竜旗高校大会
特報 2007 佐賀インターハイ

剣道時代

大特集 審査大全

【特集】大吟醸剣道歌百選(下)

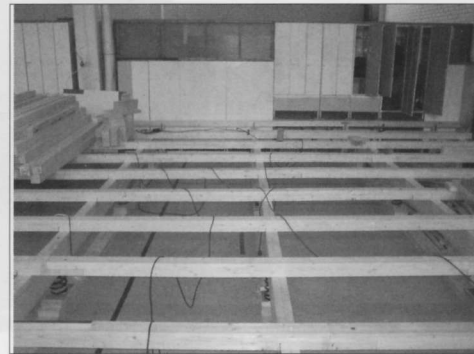
【夏の大会特集】熱狂の佐賀インターハイ

玉竜旗、少年剣士夏の陣、その他

フィンランド

からのメール

(A面の続き)



ほどを見込んでいます。私達は、こうした伝統的な「道場の床」は、フィンランドだけでなくまさにヨーロッパでも初の試みであると信じて止みません。そして、この伝統を引き継ぎたいという私共の夢に、どうか日本の皆様からもご協力をいただければと願っております。

又、スポンサーとしてののご参加も可能です。道場の壁にプレートでスポンサーの方(個人または団体、企業など)をボードにする計画が進行しています。既に何枚かのプレートが予約されています。もしご興味、そしてご質問などがおありでしたら、どうぞこちらまでご連絡ください。大熊剣会一同、皆様のご協力を心よりお待ちしております。よろしくお願ひ申し上げます。キンモ・セルボ 大熊剣会 日本語担当

床設計に関しては、会の創立メンバーである、カリ・ルーヒラハティが卒業論文の研究テーマとしてとりあげ、調査し、専門家として担当しています。この場所を借りた時、床はなんとプラスチックのカーペットに覆われており、私達はカーペットをはがす事からスタートしました。直接足に触れる床面は75本(15mm×200mmサイズ)の松の床材を使用する予定です。建設は2007年5月に始まり、見積もりの段階では、床下の木材、床面、そしてスチールのバネからなる費用はおよそ240万円(150000ユーロ)



阿部誉司文さん
(剣道日本掲載)
↓
高澤邦彦さん
(剣道時代掲載)
←

29歳の剣の道 稽古日誌

お知らせ
今月の稽古日誌はお休みです。

剣道時代10月号

「私の合格体験記」

29歳初段

稽古日誌筆者42ページに掲載されています。

ぜひ、ご覧下さい

指導者稽古日誌(五)

稽古にきた小学生は2人だけ「剣道不人気」が囁かれる昨今しかし、

伝統文化は必ず復活する苦「石の上にも十年」という気持ちで頑張って行こうと思う

H13年、小学生指導にて愛興館道場 館長 近藤 光

開場3年目の稽古日誌
当時は閑散としていて存続も危ぶまれた。現在は約90名の門下生で賑やかだ。

ポリ道場・メインスポンサー
アナイカ・セイック社

<http://www.anaika-group.fi/>

道場についてお問い合わせは↓

kimmo.servo@wa-connection.net

道場建設の様子がわかります↓

<http://poridojo.googlepages.com/>

第42回全日本少年剣道錬成大会

第32回全日本選抜少年剣道個人錬成大会

平成19年7月25日・26日

日本武道館

道場連盟だより

剣道日本10月号「この稽古で」必殺技研究会 会長 阿部誉(錬士六段)に
☆稽古のビデオ
剣道で一番大動中に自分の動断し、即座に矯の内部の感性をす。外から見たはなく、内部感分の動きこそが分の動きがまっ分に無理や力みがあるとするれば正し、次の動き、動きの中で即断れるのです。そ覚はビデオなどし見ても育てるせん。ビデオでくまで外から見だけです。(一)ビデオで自分の反省するのは年すれば基本的にいます。(文はムページより抜